

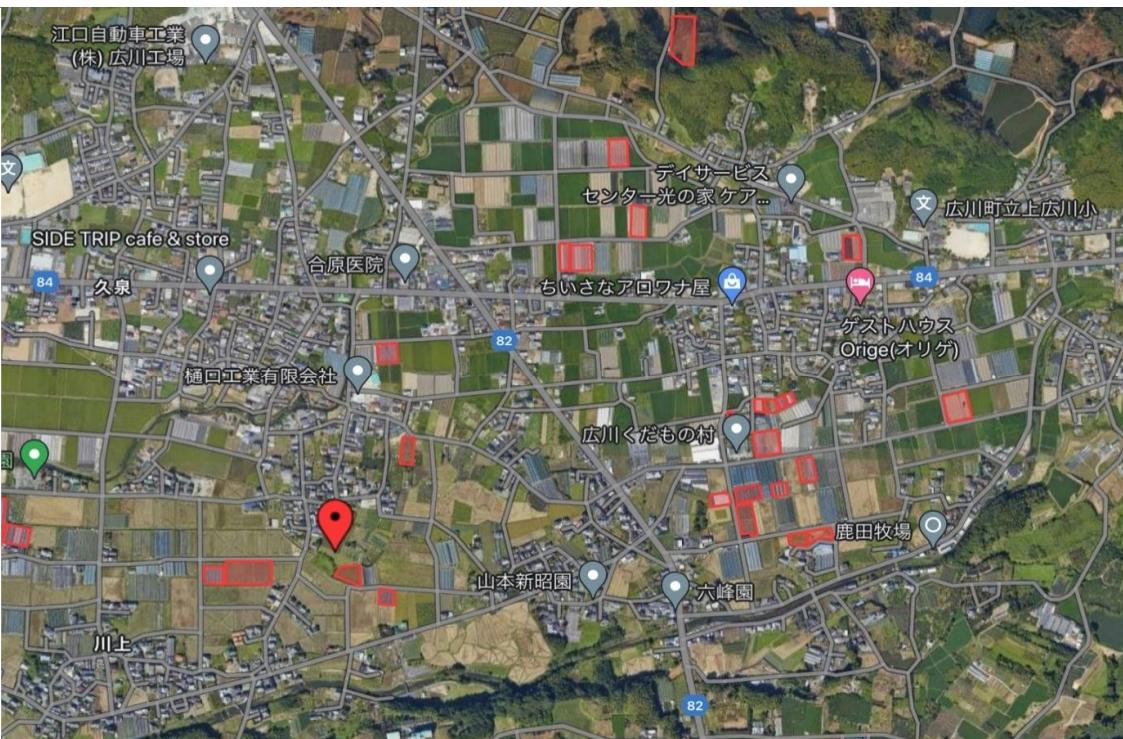
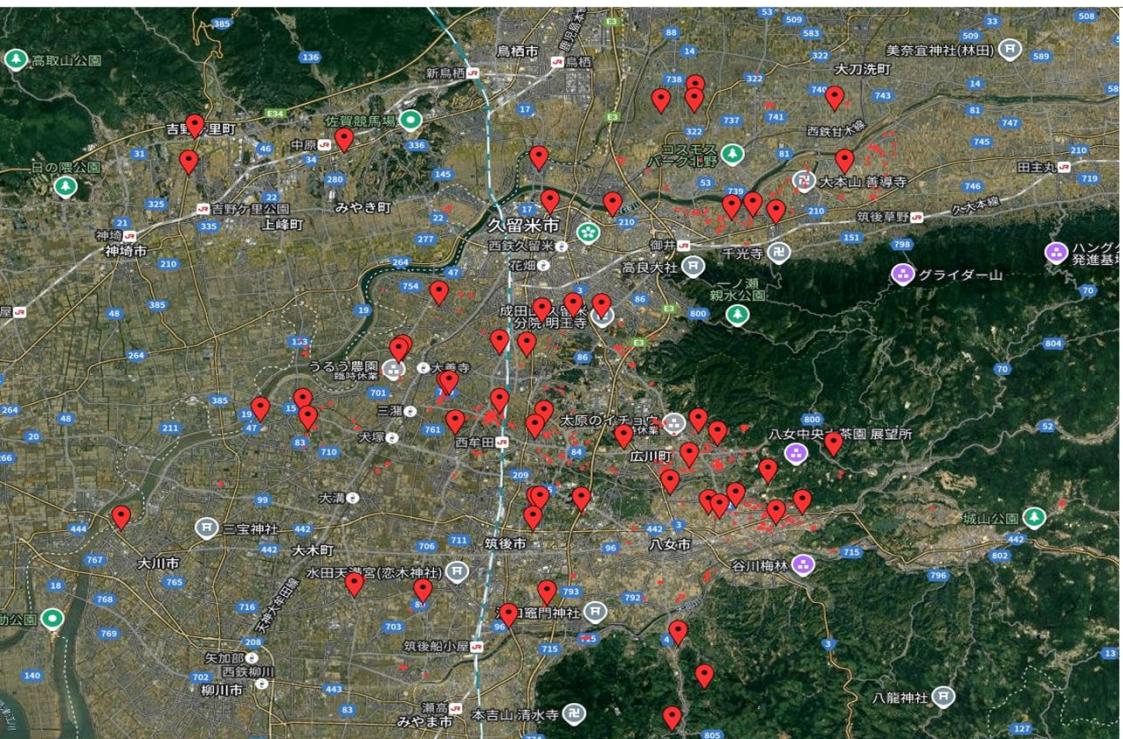
農作業受委託（施設外就労）実績

農作業の受委託契約農業者数（農業法人、JAを含む） 約200件

- ◆ 契約件数が増え、圃場が広範囲に点在する
- ◆ 路地作業のトイレの確保が大変



- ◆ 航空写真マップを圃場への道順や近くのトイレ（コンビニ、公共施設）等を探すのに活用



農作業受委託（施設外就労）

1 作業委託の流れ

- ✓ 作業は委託者とも連携しながら、圃場や生育状態等の情報把握に努め、天候予想と照らし合わせてスケジュールを調整



2 作業時間

- ✓ 夏場（6月～9月）はサマータイムを導入し、作業や休憩の時間調整を随時行うほか、作業中全員に空調服を貸与するなど徹底した熱中症対策を実施

1. 通常期間 10月～5月 (5時間作業)	08：50～14：55 (休憩65分)
(可能な者は7.5時間作業)	08：30～17：00 (休憩60分)
2. サマータイム期間 6月～9月 (4時間作業)	07：50～12：10 (休憩20分)
(可能な者は7.5時間作業)	07：00～15：30 (休憩60分)

3 委託金額

（※ 算出方法であり、契約書記載内容ではない）

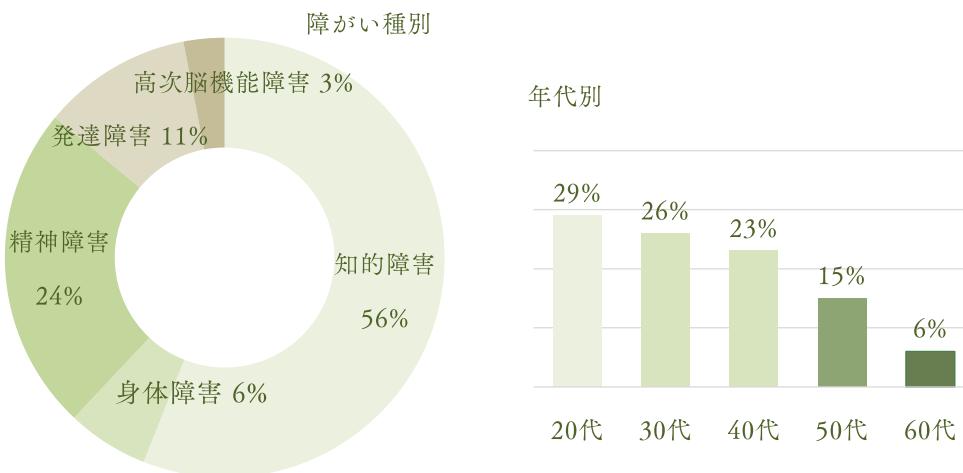
- ・ 金額算出の要素
最低賃金、工賃単価、人数、作業予定時間、作業環境等↓
 - ・ 実施面積（数量）の全額または単位面積（数量）当たりの金額を算出
※ 委託金額は作業の内容による
- | | |
|--------|---------------------------------|
| ・ 交通費 | 往復の距離 (km) × 30 円 × 日数 × (車両台数) |
| ・ 管理費用 | 作業料金 × 10 % |

利用者の適性と能力に併せた作業支援

職員及び利用者を作業内容に合わせて、班分け

作業は「一班一作業」が基本

- ✓ 利用者の心身の状態を日常的に把握し配置
- ✓ 利用者の障がい等の特性、能力・得手不得手等を考慮し配置
- ✓ 利用者が行う作業と、職員が行う作業など作業を細分化
- ✓ 利用者個々の特性を考慮し、より分かりやすい手順書を作成
- ✓ 作業内容や進め方、留意点、利用者ごとの対応などを記載した手引書を作成



作業支援の流れ

支援は、「4段階職業指導法」と呼ばれる次の4つのステップで進めていく

1. Show (やってみせる)

- 職員が実際に作業をやってみせて、作業全体のイメージを持つもらう

2. Tell (説明する)

- 作業の意味や必要性などを交えながら、作業内容を説明する
- 利用者から質問を受け付け、不明点や疑問点を解消していく

3. Do (やらせてみる)

- 作業を実際にやってみてもらい、どこまでできるかを見る
- 簡単な作業からはじめて、反復させ、定着したら徐々に作業の難易度を上げていく

4. Check (評価・追加指導する)

- できた部分とできなかった部分を明確にし、良かった点を褒める
- 反省点・改善点などを伝えてしっかりとフィードバックする